

例会報告 Rotary



ロータリー財団委員会

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 下屋勝比古
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 塚本 直人
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 挾土 貞吉

世界に希望を生み出そう

<会長の時間>

月曜日の3クラブ合同例会への出席ありがとうございました。恒例の会長幹事懇談会に遅刻してしまいましたが、それぞれの会長の考えや発言、他クラブのお話は大変刺激になりました。わが西クラブは



「自他共栄」の精神で盛り上げていこうと改めて体温が上昇しました。10月に入ると、「出前講座」「紅葉例会」「インターシティーミーティング」「地熱発電所見学」とたくさんの行事が続きます。どうぞすべての行事に積極的に参加していただき、「入りて学び、出でて奉仕する」を実践していただきますことを期待します。

私は、先週から行われていた「第19回アジア競技会」に出場するローイングチームサポートに、ガバナー公式訪問のため一旦帰りましたが、東京の国立スポーツ科学センターに行っていました。まずアジア競技会は、アジアのオリンピックといわれ来週23日から10月8日まで全40競技481種目に選手592名監督コーチなど851名の日本選手団で臨みます。オリンピックにはない競技が多くあります。「囲碁」「カバディ」「クリケット」「セパタクロウ」「チェス」などアジア独特の種目があります。ちなみに東京オリンピックは33競技339種目選手583名、総勢1058名。リオデジャネイロオリンピックの参加は選手338名総勢601名でした。2026年は、名古屋で開催されます。

先日、バスケットの男子がパリオリンピック予選で勝利して大変盛り上がりましたが、女子ハンドボールはブラックブルズから代表候補はいましたが選ばれなかった影響もあったのか、惜しくも韓国に1点差で敗れアジア枠での出場権が取れませんでした。そのブルズですが、岐阜清流国体のレガシーとして高山に創設され9年ぶりに本国体の出場権を獲得したおかげで「紅葉例会」の翌朝7時のフライトで鹿児島に向かうことになりました。また、報道されていませんが月曜日、わがローイングからは一人乗り(シングルスカル)で、荒川龍太選手が出場切符を手に入れました。

国立スポーツ科学センターは、シドニーオリンピックでメダルが取れなかったことに日本のスポーツを強くするための施策として、東京都赤羽に2001年に建設され、その後トレーニングセンターやアスリートヴィレッジなどが建設されました。現在は、ハイパフォーマンス・ジムや風洞実験などの医・化学の研究施設、トレーニング、競技別専用練習場と栄養指導が受けられる食堂などがあり、スポーツを医科学や栄養環境からサポートする施設としています。どうぞ来週からのアジア競技会、10月8日からの国民体育大会にご期待ください。

<幹事報告>

◎ガバナーより

・職業奉仕委員会研修セミナー開催のお知らせ

日時 11月5日(日) 点鐘13:00 終了16:30
場所 ホテルグリーンパーク津
参加要請 会長、職業奉仕委員長

◎国際ロータリー理事、ロータリー研究会実行委員長より

・第52回ロータリー研究会ご案内および登録について

日時 11月21日(火)・22日(水)
場所 神戸ポートピアホテル
登録申込 9月29日(金) までに事務局へ

◎国際ソロプチミスト高山より

・新事務局ご案内(23年9月~24年8月) 大保木 寿美代(会長)

<例会変更>

高山…10月12日(木)は、職場訪問例会のため、
12:00~15:00 中部電力パワーグリッド飛騨変換所 に変更
高山中央…10月2日(月)は、9日(月・祝)に振替のため休会
9日(月・祝)は平塚湘南RC合同例会のため
17:00~ ひだホテルプラザ に 変更
30日(月)は、定款により 休会
可児…10月12日(木)は、濃飛グループIMのため
14日(土) シティホテル美濃加茂 に 変更
19日(木)は、定款により 休会
26日(木)は、職場訪問のため、
18:00~ カマドブリュワリー に 変更

<受贈誌>

高山RC(会報)、下呂RC(会報)、米山記念奨学会(ハイライトよねやま vol282)

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
28名	—	28名	37名	74.29%

<本日のプログラム> ロータリー財団委員会

委員長 内田 幸洋

本年6月から7月にかけて、ロータリー財団補助金事業を実行いたしました。実行委員長の杉山さんに総括・報告いただきます。

地区としての補助金申請は全73クラブ中26クラブ、12万\$です。内、当クラブの申請は4,444\$でした。



例会報告

財団補助金事業報告

実行委員長 杉山 和宏

目的を「日本文化の伝承と少年の健全育成」として① 普段テレビ中継を観るしかない大相撲の力士と直接触れ合うことで、強い身体づくりのきっかけを作るとともに、「飛騨の花」以来の関取を目指す子どもたちを発掘する。② 元力士から実際の経験や苦労話を聞くことで、これまでの生き方を振り返り生きる希望を得る。③ 地元相撲大会への協賛をし、さらに相撲場の土俵築を実際に行うことで、競技環境の向上を図り、高山相撲の振興発展に寄与する。掲げ、高山市相撲場の土俵整備、第56回高山市青少年相撲大会、園児チャンピオン大会の協賛、第72代横綱 稀勢の里 二所ノ関親方 講演会の3つの事業を行いました。後援は高山市、高山市教育委員会、高山市相撲連盟、(一財)高山市体育協会にお願いしました。



内容としましては、まず6月29日(木)8:00~16:00、約40名の方々にご参加いただき、長年の練習と風化により土俵の劣化が進み、怪我などの危険性が出てきた高山市相撲場の土俵整備を行いました。事前の6月23日に大相撲土俵と同じ荒木田土に入替えし、当日は大相撲呼び出しの田子の浦部屋・光昭(みつあき)さん、鋸山(しころやま)部屋・節男(せつお)さんにお越しいただき、高山市相撲連盟様、左官業組合様、ロータリーメンバーと一緒に土俵築を行いました。

そして、7月30日(日)9:00~11:00、第56回高山市青少年相撲大会・園児チャンピオン大会が、選手・見学者含め約120名にて開催され、大会運営の協力、会長スピーチ、表彰状授与という形で協賛しました。

3つの事業締めくくりは、7月30日(日)13:30~15:00、飛騨世界民族文化センター芸術堂での第72代横綱 稀勢の里 二所ノ関親方 講演会でした。「我が相撲道 一片の悔いなし」と題した講演会には300名が来場し、講演会後、相撲大会に参加した子ども力士たち、相撲連盟の方々と交流していただきました。なお、講演会の募集案内チラシは、高山市教育委員会様のご協力により、小学校を介して全市の小学生へ配布させていただきました。

この事業の受益者としては、普段はテレビでしか見られない大相撲元横綱と直接ふれあい、話を聞くことで、子ども力士たちに夢と希望を与え、青少年の健全育成、地域の相撲競技の普及、発展に寄与することができ、また、土俵の整備により怪我の危険性を低減し、また大相撲と同等の競技環境とすることができたとして、第1に、相撲を志す子ども力士とその家族 としています。

併せて、国技である相撲の頂点まで上り詰めた元横綱の話を直接聞くことで、より相撲を身近に感じ、魅力を味わう機会を提供し、また、相撲を深く知ること、日本の伝統、文化にも興味を深めていただくことができたとして、講演会に参加した市民の方々も事業の受益者であると考えています。

「日本文化の伝承と少年の健全育成」を目指した事業でしたが、土俵築においては、その形状、位置、手頃にも意味があり、相撲の歴史的文化的要素を再確認できました。また、地元で全国大会に出場するほどの青少年力士がいる中で、大相撲に匹敵する土俵を整備できたことは選手の更なる育成に貢献できたと考えています。講演会においては、普段は直接会えない元横綱に会えただきお話しいただいたことで、参加者には大相撲の厳しさ面白さを身近に感じることができたと考えています。親方との予定がなかなか合わず高山でゆっくり過ごしていただくことは叶いませんでしたが、事業として目的は概ね達成できたのではと自負しております。

<ニコニコボックス>

●下屋 勝比古さん、塚本 直人さん

9月も中旬になり秋を感じる毎日です。先日の高山3RC ゴア同ガバナリー公式訪問例会に参加いただいた皆様ありがとうございます。本日はロータリー財団委員会の内田さん、宜しくお願いします。

●内田 幸洋さん

本日はロータリー財団委員会の担当例会です。先日の「相撲に触れ合う一日」についての総括をします。実行委員長お願いします。

●古橋 直彦さん、米澤 久二さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん、下屋 勝比古さん、田邊 淳さん、榎坂 純一さん、堀 幸一郎さん

阪神タイガースが16年ぶり6回目の優勝です。阪神の優勝の影響による経済効果は1000億円を超えと言われ、日本経済浮揚の一助になれば期待します。

人間力を高める

第8回

人間力を高めるために

遠藤 隆浩

私は昭和39年生まれです。いわゆる高度経済成長期に生まれ育ちました。諸先輩方々の人生経験をお聞きするとその経験の重さに遠く及ばない気がします。それでも私なりにいろいろな事があったなあと思います。来年還暦を迎えますがまだまだ気持ち的にこのままでは終われない、やり残したことが多すぎると思っています。世の中もまた大変な時代がくるような気配がありますがなんとか生き残っていかねばなりません。

会社の良し悪しというのはその経営者に負うところが多いのは事実だとも思います。経験のあるなし、持って生まれたもの、それぞれあると思いますが何であれ次々と湧いてくる課題を処理していかねばなりません。

そこで経営者の人間力というものが問われていきます。特に長期的なビジョン、社風といったものにその経営者の考えていることや人柄が反映していきます。では人間力というものはどうやって養っていかねばいいのでしょうか。私も考えてみました。

- ① まずは何をやるにしても健康が第一。ダイエット、筋トレ、十分な睡眠、暴饮暴食の禁止等心身を整えてこそいい仕事ができると思います。
- ② 最近ではあまり聞かなくなりましたが昔から飲む、打つ、買うという言葉があります。言い換えれば酒、ギャンブル、女性(今風に言えば異性ですか)です。これらを極めるとべつこの道に行ってしまう。快樂は程々にしないと破滅します。
- ③ 人に対しては穏やかに接する。実るほど頭を垂れる稲穂かなという言葉がありますができたら誰にたいしても誠実に接したいものです。実際には腹のたつこともおおいですがそこはアンガーマネジメント、怒りの抑制はその人の器量だと思います。
- ④ 重大な局面に直面した場合、自分を捨てること。葉隠に「武士道といふは死ぬ事と見つけたり」という言葉があります。
- ⑤ 神仏のような何か目に見えないものを信じてそれを感じ日本ロータリーの創始者米山梅吉のように陰徳を積む。

以上、自分ができないキレイ事のようなことばかり書いてきましたが人間力を高めようと思ったらこんな感じかなと思いました。